高齢者の皮膚乾燥に対する取り組み

―ヒルドイド®ローション0.3%と美肌水、オリーブオイルの比較検討―

医療法人社団生和会
周南リハビリテーション　看護部

○　二家本信子　澤田真里子
安達智津子　舞谷愛理
吉田房子　田宮寛子

はじめに

A病院A病棟では入浴を週2回行い、肉眼的に皮膚乾燥のある患者にヒルドイド®ローション0.3%（以下ヒルドイドローションとする）を塗布している。塗布後、皮膚乾燥は改善するが、翌日には視覚的に細かい落屑、亀裂、ざらざら感といった皮膚状態がみられている。スキンケアのポイントは「清潔」「保湿」「保護」であり、もっと保湿効果の高いスキンケアがないかと考え、文献検索を行った。

尿素グリセリン水溶液（以下美肌水）は保湿効果が高いとされていた。
保護効果の高いものとしてオリーブオイルがあることも分かり、美肌水とオリーブオイルの併用に着目した。
①美肌水には尿素、グリセリンの2つの成分が配合されているため乾燥した皮膚に効果的であるとされている。
②作成が簡易で安価（ヒルドイドローション3円/1回3gに対し美肌水0.66円/1回3ml、オリーブオイル0.76円/1回0.2ml）

③副作用も少ない。
④オリーブ油は皮脂のかわりに水分の蒸散の防御膜の働きをすることができるが挙げられた。
以上のことから、美肌水とオリーブオイルによって皮膚乾燥の改善に効果があるのかを検証した。

倫理的配慮

対象者に本研究の目的、方法ならびに得られたデーターは研究以外の目的で使用しないこと、個人が特定できないようにすることを説明し、同意書による署名、同意を得た。また看護部会で承認を得た。

研究方法

1. 研究期間
   平成29年12月15日～平成30年6月30日

2. 研究対象者
   65歳以上で乾燥によりヒルドイドローションを塗布している患者かつ同意の得られた12名

1）病室ごとに室温、湿度を測定
2）パッチテスト：事前にスタッフで行う。
異常がないことを確認した上で対象患者の左下腿に美肌水、オリーブオイルを塗布し24時間後に皮膚に発赤、発疹等の出現がないか観察を行う。
3）研究前：部位による有意差の有無を確認するため
上腕　前腕　大腿　下腿　足背の計10か所
1週間毎日14時に水分油分測定器で水分量・油分量を測定。
4）研究前後の比較をするため3）のデーターから個人の中央値を出す。

5）グリセリン濃度2.5%の美肌水（グリセリン12.5ｍｌ、尿素125ｇ、水500ｍｌを作成）を冷蔵庫で保存。
6）オリーブオイルを1プッシュ1mlの携帯用スプレーボトルに入れる。
7）入浴日に5）で作成した美肌水をプラスチック容器（3g）に入れ人数分準備。

8）入浴直後３分以内に（週2回）浴場にて7）の美肌水を左大腿～下腿に、両手をU字にして5～6回さするように塗布。
9）美肌水の塗布直後に6）のオリーブオイルを2ﾌﾟｯｼｭ(0.2ml)手に取り、8）同様の方法で塗布。

医療法人社団生和会
周南リハビリテーション病院
(財)日本医療機能評価機構・認定病院

10）ヒルドイドローション3ｇ(1円玉6枚分)を毎日10時に右大腿～下腿に塗布。（入浴日は入浴直後３分以内）塗布方法に関しては8)と同様の方法で行う

11）毎週水曜日の14時に2名の看護師で、両下腿の水分量・油分量を水分油分測定器で測定。

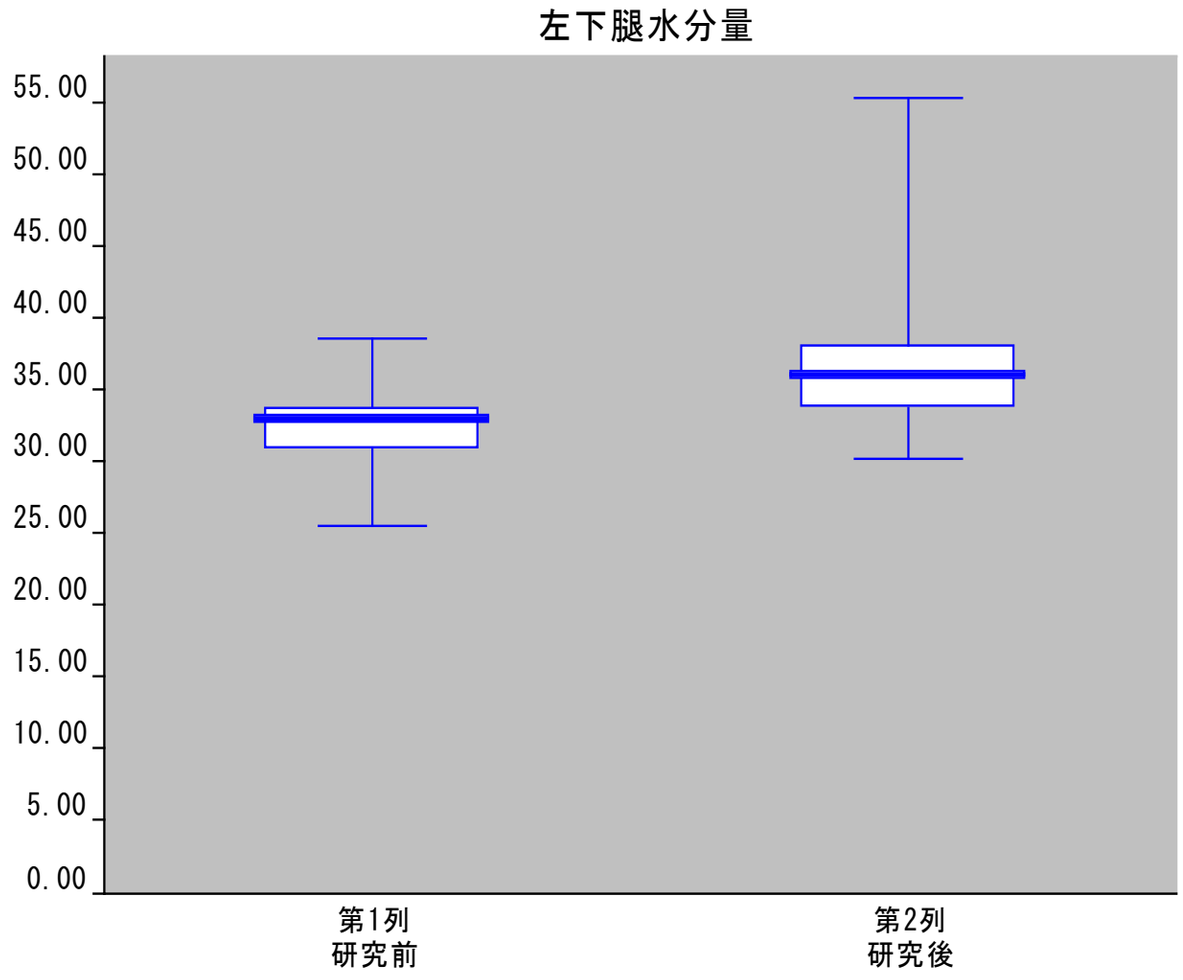
12）データー収集は美肌水塗布開始から５週間行う。

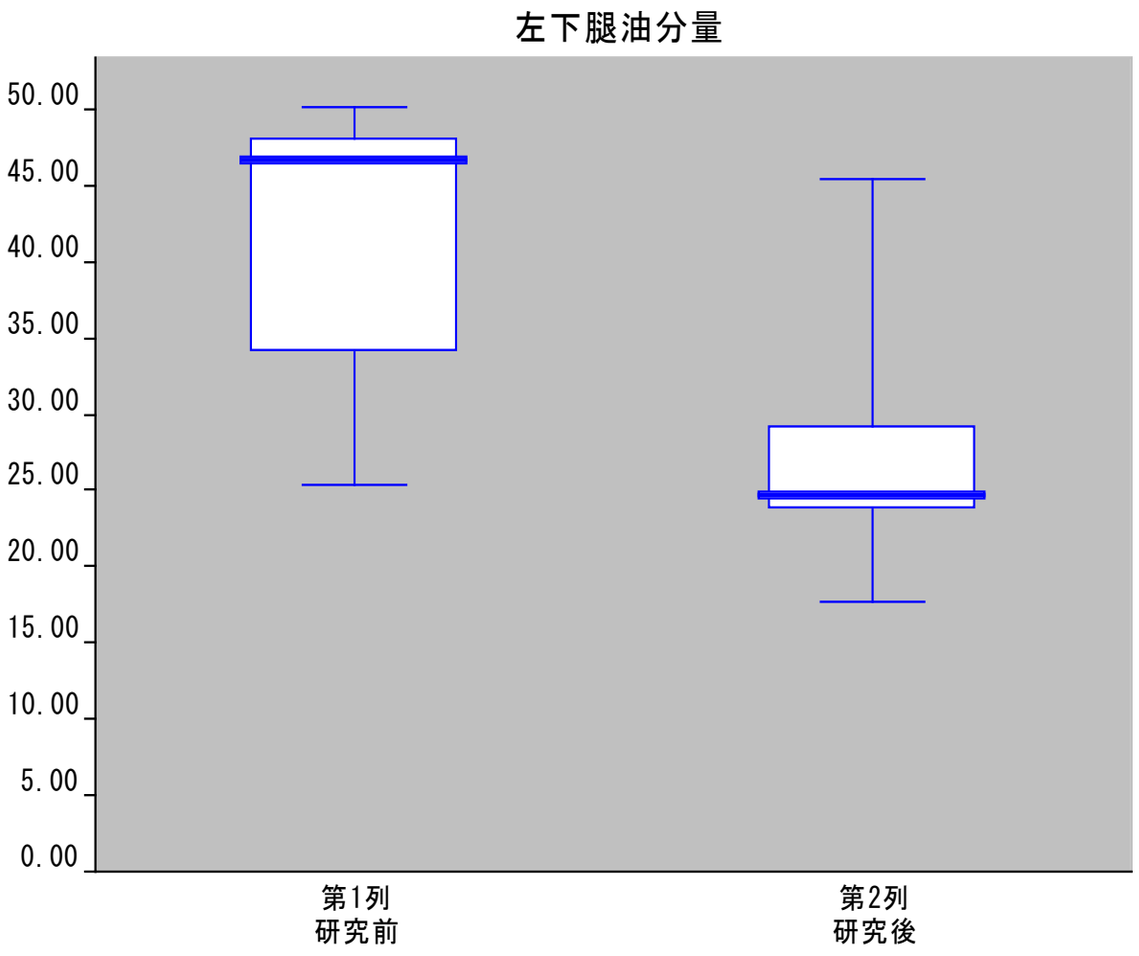
13）11）で得られた研究後のデーターから個人の中央値を出す。

14)データー分析方法は、ノンパラメトリック検定のウィルコクソンの符号付順位和検定を使用

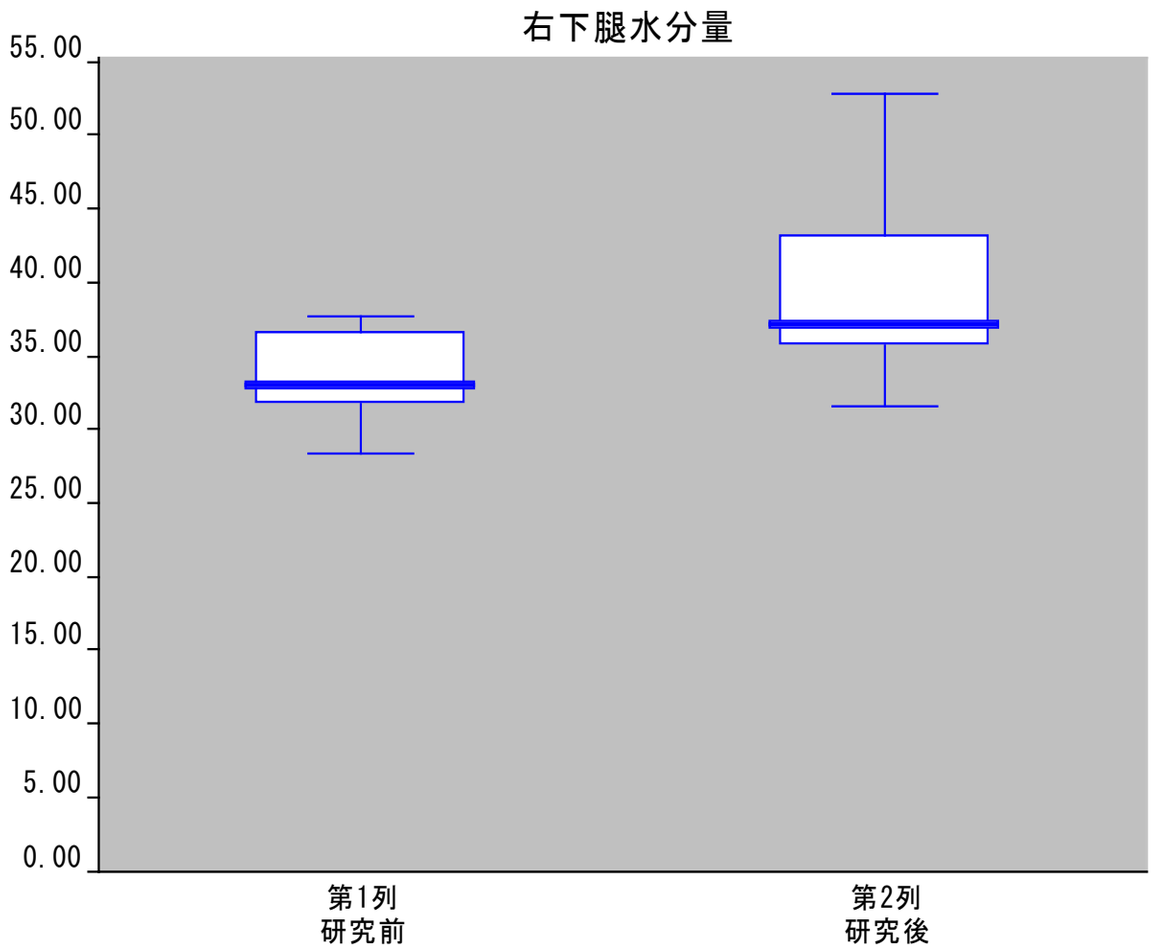
結果

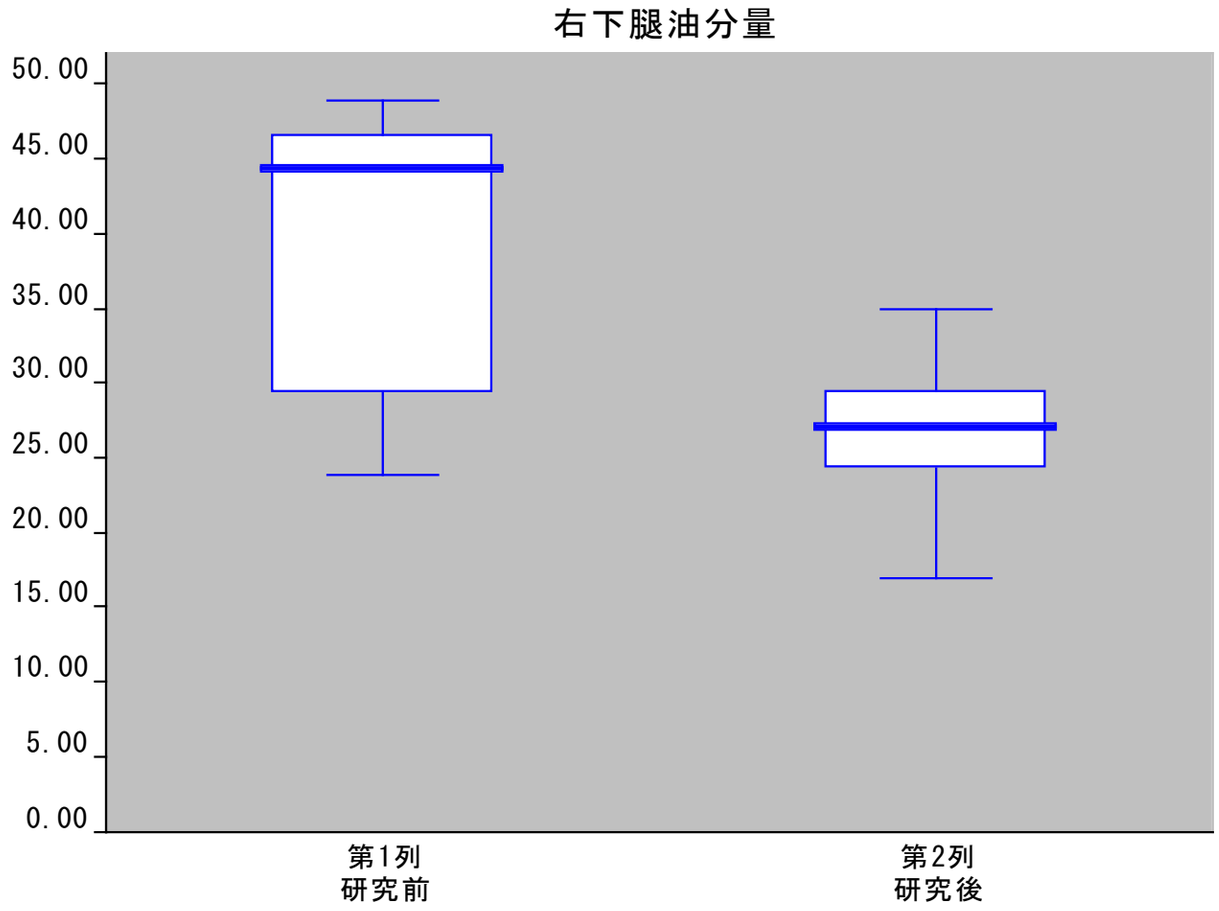
美肌水とオリーブオイル導入前に1週間、
両上肢、両下肢の10ヶ所でスキンチェッカーを用い、
水分量を測定。測定した結果
①水分油分測定器の水分量は35%以上が標準であり、
12名中9名が35%以下であった。
②入浴日の水分量が低かった。
③10ヶ所での部位の測定値の大きな差はみられなかった。
この結果から対象部位を両下腿に絞り美肌水とオリーブオイルの使用を開始した。



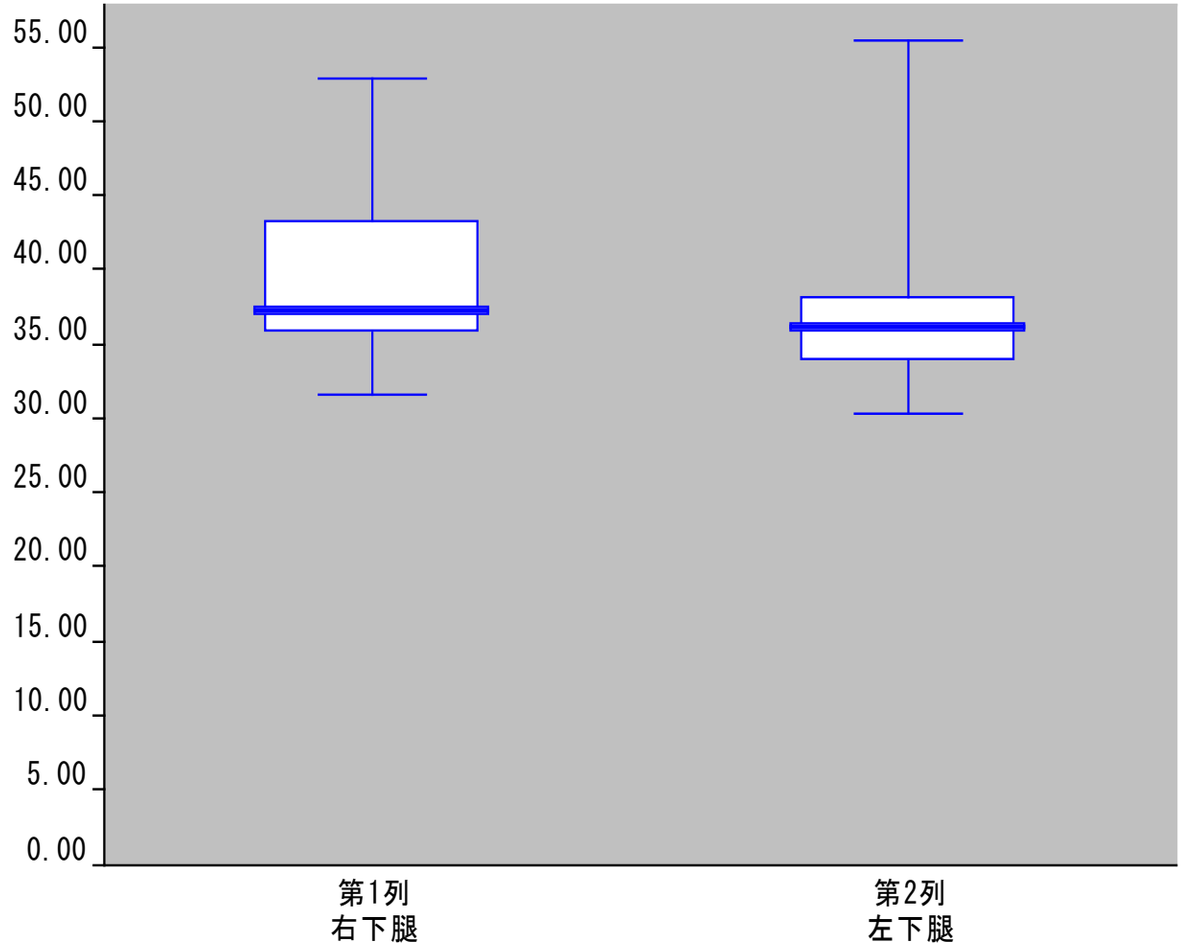


医療法人社団生和会
周南リハビリテーション病院
(財)日本医療機能評価機構・認定病院

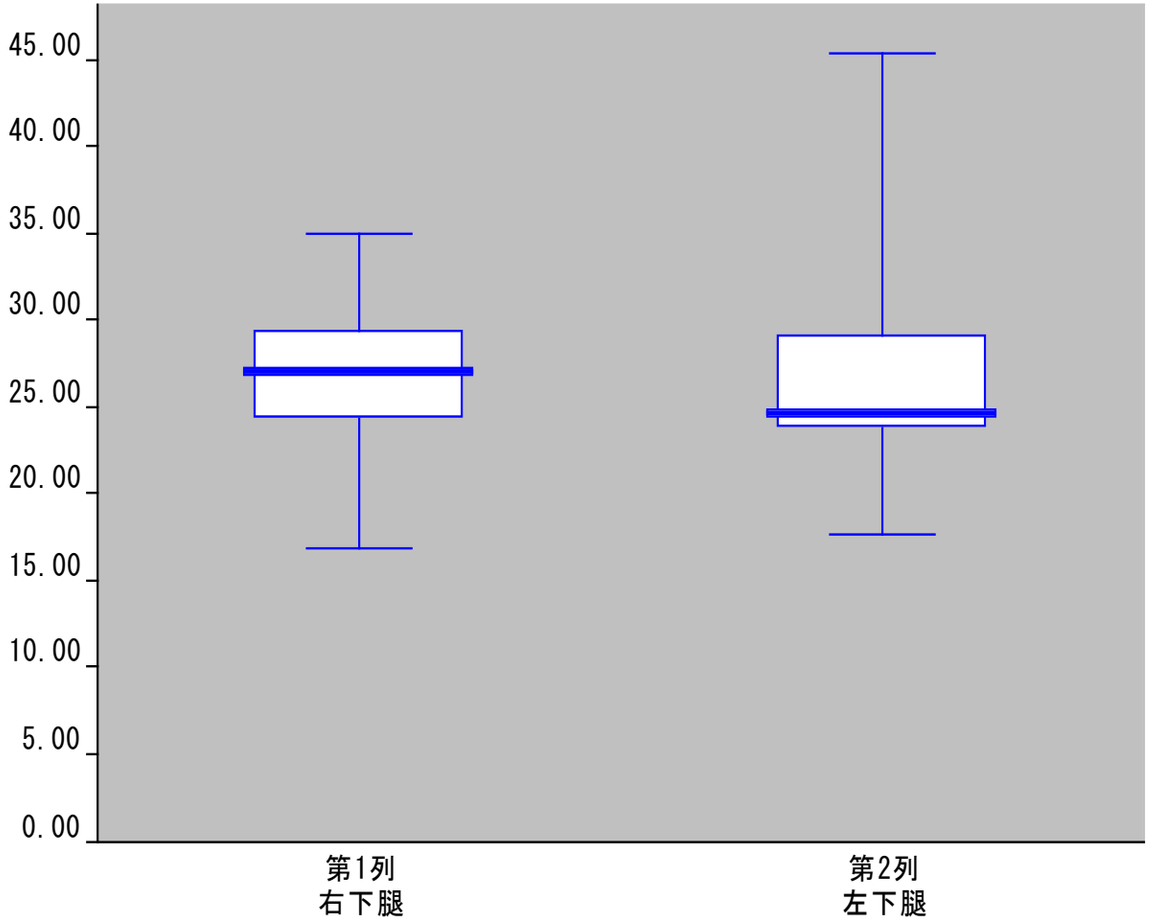

右下腿水分量
55.00
50.00
45.00
40.00
35.00
30.00
25.00
20.00
15.00
10.00
5.00
0.00
第1列
研究前
第2列
研究後


右下腿油分量
50.00
45.00
40.00
35.00
30.00
25.00
20.00
15.00
10.00
5.00
0.00
第1列
研究前
第2列
研究後

研究後水分量



研究後油分量



医療法人社団生和会
周南リハビリテーション病院
(財)日本医療機能評価機構・認定病院

考察

美肌水とオリーブオイル導入前後の水分量は最小値、中央値、最大値がそれぞれ上昇。このことから高齢者の皮膚乾燥に対して美肌水とオリーブオイルは効果があったといえる。

美肌水

グリセリンと尿素それぞれ強い保湿性あり

グリセリン+尿素＝たぐいまれな保湿性

オリーブオイル

皮膚表面を油の薄膜で覆うことにより、

皮膚表面の水分蒸散を抑制する

美肌水とオリーブオイルを併用したことが水分量の上昇（約35%以上）に繋がったと考えられる。

ヒルドイドローションを
塗布していた右下腿でも
研究前後で水分量が上昇

→

・統一した手技
・水分の蒸散前（入浴直後）
に　塗布したことが要因

油分値は著しく低下

→

美肌水で保湿されオリーブ
オイルで保護を行ったこと
で肌の水分値と油分値の
バランスが改善された

結論

1. 美肌水とオリーブオイルを併用することでヒルドイドローションと同等の効果が得られた。
2. 水分量35%以上を保つことができた。
3. 美肌水とオリーブオイルの塗布は週2回の看護介入でも乾燥改善に効果が得られる。

おわりに

本研究で美肌水とオリーブオイルによって皮膚乾燥の改善ができた。今後、美肌水とオリーブオイルの導入について具体的に検討していくことが課題として挙げられる。

ご清聴ありがとうございました